

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600061
事業所名	グループホーム「ポプラ」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。コロナ感染症拡大防止のため地域行事やボランティアの来訪が中止となってしまったが、天候を見ながら小学校周辺への散歩に出かけたり、公民館で実施される月1度の「ふれあいカフェ」に参加し、地域住民と挨拶を交わしたり交流を楽しんでいる。地域の方が畑で収穫した大根等野菜を届けて下さることもあり、双方向に関係が構築されている。また、小学校の廃品回収に段ボールや新聞を出して協力している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	今年度は2回対面で開催し、4回は書面送付で対応した。市職員・地域包括支援センター職員・地域の区長や民生委員・コミュニティ推進協議会の方々より意見や助言、コメントも届き、報告書に記載するとともに運営に活かしている。年2回ヒヤリハット・事故の分析結果をまとめた報告書を作成し、議題に盛り込んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	月1度は担当課へ出向いており、日常的に新型コロナ対応も含め何かあれば相談や情報交換、提案できる体制にあり協力関係が築かれている。地域包括支援センターとは「認知症カフェ」開催で連携を取り合っている。対面やオンライン開催の市研修に参加し、ホームでの勉強会で内容を職員間で共有し、資質向上へ繋げている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族からの意見や要望は面会時や電話での連絡時に聞き取り、直ぐに実践できることは実施し、サービス向上に努めている。家族参加の行事開催はかなわなかったが、季節行事やイベントは職員が利用者の状態を加味し、内容を「少しでも利用者もスタッフも笑顔で楽しめる場」となるようアイデアを盛り込んで開催し、その様子を毎月発行の「ポプラ新聞」に写真とともに掲載し、家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									

備考欄

--